

まほろば秦野通信

平成29年5月22日

秦野市市長公室広報課

タイトル	ごみの減量に協力 市議会議員有志が木製コンポスト（手作りキューロ）を作成
When (いつ)	5月19日（金曜日）
Where (どこで)	秦野市環境資源センター内（秦野市名古木409番地）
Who（だれが）	秦野市議会議員の有志により、木製コンポスト（手作りキューロ）の作成と試用を行い、モニターとして市に協力するほか、1台を庁舎に展示する予定。
What（なにを）	
How（どのように）	
Why (なぜ)	<p>平成37年度末までに、老朽化した伊勢原清掃工場（90トン/日）が稼働停止となる見込みであり、これに向け本市では平成33年度までに、市民一人当たりごみ排出量を平成27年度比8.8パーセント減の636グラムまで減量することを目標に掲げています。</p> <p>目標の達成状況によっては、可燃ごみ有料化などの検討をすることとなるため、今後、市としては更なるごみ減量のため木製コンポストなどの普及促進を図っていく予定でいるが、この趣旨に賛同した市議会議員の有志が市民へのPRを含め自ら実践するために作成しました。</p>
How much (予算)	製作に際しては諸戸林業から材料用化粧板（杉板）の寄付を受けました。
過去の実績	<p>本市では生ごみの減量対策として、さまざまな生ごみ処理機の購入費補助を行ってきました。平成26年度から木製コンポストも補助対象としていますが、実績はまだ1件です。</p> <p>また、平成29年3月30日に、間伐材の有効利用を目的に木製コンポストの作成に取り組んできたNPO法人四十八瀬川自然村が木製コンポスト20基を作成し、これを市が寄贈されました。</p> <p>市は、現在寄贈された木製コンポストのモニターを募集していて、すでに寄贈台数を上回る応募があり抽選となる予定です。</p>
今後の取り組み	木製コンポストに対する市民の関心が高いにもかかわらず普及が進まない原因の一つとして、市内には木製コンポストの販路がないことが考えられます。今後、NPO法人四十八瀬川自然村を含め、販路の確保と普及促進に努めます。
問い合わせ	環境産業部環境資源対策課資源化推進担当 担当：星野 電話0463（82）4401



